

ワクチンに関する説明書

黄熱は、アフリカ及び中南米の国々で常在しています。これらの国々を黄熱リスク国といいます。国によっては、入国に際し、黄熱予防接種国際証明書(イエローカード)の提示を要求しています。現在、世界で国際証明書を必要とする唯一のワクチンです。

提示を要求されない国でも、黄熱リスク国と同様に一部の地域では、感染する可能性が高いので世界保健機構(WHO)は予防接種を推奨しています。

○黄熱ワクチンの成分と製造元について

- ・当製剤は、弱毒化した黄熱ウイルス(17D-204 株)を、ニワトリ胚で培養増殖後精製し、ゼラチンを含む安定剤を加え凍結乾燥した生ワクチンです。
- ・製造元は、サノフィパスツール・アメリカ社で、サノフィパスツール株式会社が輸入後、国内で検定を行なっています。

○投与方法について

黄熱ワクチン液 0.5ml を上腕外側の皮下へ注射します。

○接種後の免疫効果について

接種後 10 日目から免疫効果があります。黄熱予防接種国際証明書は 10 日目から 10 年間有効です。

○接種後の副反応について

このワクチンは、安全性が高いと考えられています。通常、副反応はあったとしても軽度で、接種後 2～10 日前後に軽い頭痛、筋肉痛、全身倦怠感、微熱が出現する場合がありますが、日常生活に支障を来すことはまれです。

まれに重篤な副反応として以下のものがあります。

1) アナフィラキシーショック

(接種直後に出現するショック:じんましん、ぜんそく様症状、呼吸困難等の症状が出ます)

2) 脳炎

(20 万人に 1 人の割合で発生:脳に炎症が起こることで意識障害、麻痺等の症状が出ます)

3) 熱性多臓器不全

(40 万に 1 人で発生:接種後 2～5 日目に疲労、筋肉痛、頭痛を伴う発熱が現れ、呼吸不全、肝機能不全、腎不全等の急速な進行を特徴としています。)

○注意事項として

- 1) 胎児への安全性が確立されていないため、女性の方は、接種後 2 か月間は妊娠を避けるようにしてください。
- 2) 卵、ゼラチン、ゴム製品等にアレルギーを有する場合、接種できない場合があります。

保護者同意書

関西空港検疫所長 殿

私は、平成 年 月 日に、_____が、黄熱の
(予防接種を受ける者)
予防接種を受けるにあたり、保護者として「黄熱ワクチンに関する説明書」の内容を
確認しました。副反応等のことを理解した上で、上記の者への黄熱ワクチンの接種に
同意・希望いたします。

平成 年 月 日

保護者
住所 _____

氏名 _____ 印

予防接種を受ける者
住所 _____

氏名 _____ 印
(本人の署名)

保護者の方へ

「黄熱ワクチンに関する説明書」(別紙-1) をご熟読のうえ、黄熱ワクチン
予防接種に同意・希望される場合、署名および捺印をお願いいたします。